

財 政 事 情

『滋賀県基本構想～未来を拓く8つの扉～』の実現に向けて



平成26年(2014年)5月

滋 賀 県

滋賀県の姿

(□内の順位は、全都道府県中数値の大きい方からの順位です。)

総面積 4,017.36 k㎡ **38位**

(うち琵琶湖の面積 670.25 k㎡)

*H25.10.1国土地理院

(滋賀県の総面積は総務省自治行政局「全国市町村要覧」)



市町数 13市6町 (H22.3.21~)

人口 1,410,777人 (H22.10.1現在)

28位

増加率 2.20% (対H17.10.1現在)

5位

世帯数 517,748世帯 (H22.10.1現在)

30位

増加率 8.04% (対H17.10.1現在)

3位

1世帯当たり人員 2.72人 (H22.10.1現在)

(2.88人 (H17.10.1現在))

*人口、世帯数は総務省統計局「平成22年国勢調査」

平成26年4月1日現在 (滋賀県統計課)

人口: 1,414,917人、世帯数: 553,249世帯

県民所得 326.9万円 (県民1人当たり)

2位

*内閣府「平成22年度県民経済計算年報」

実質経済成長率 5.6% (県内総生産 (生産側) 実質:連鎖方式)

9位

*内閣府「平成22年度県民経済計算年報」

県内総生産における第2次産業の占める割合 42.6%

1位

*内閣府「平成22年度県民経済計算年報」

表紙の写真

ニゴロブナ (写真提供: 琵琶湖博物館)

琵琶湖固有種のフナで、この魚を使った「ふなずし」は滋賀県の無形民俗文化財にも指定されています。名前について幾つかの説がありますが、ゲンゴロウブナに顔つきなどが似ているためニゴロブナとなったという説が有力です。

普段は琵琶湖に生息していますが、5月から6月にかけて湖岸近くのヨシ原、内湖、田んぼなどに移動して産卵を行います。

近年は生息個体数が激減しており、滋賀県では保全・資源量回復に取り組んでいます。